

ORIENTAL STUDIES TRIPOS Part II

Japanese Studies

---

Friday 10 June 2011

09.00 – 12.00

---

**J.12 JAPANESE TEXTS, 1**

*Answer **ALL** questions. All questions carry equal marks*

*Write your number **not** your name on the cover sheet of **each**  
Answer Book.*

**STATIONERY REQUIREMENTS**

*20 Page Answer Book x 1*

*Rough Work Pad*

**You may not start to read the questions  
printed on the subsequent pages of this  
question paper until instructed that you  
may do so by the Invigilator**

## 1 Translate into English:

二つの戦争観 一九三七年七月、日中全面戦争が始まると、それまで人々の意識の底にかくされていた「外に帝国主義」を要求する声が急に頭をもたげてきた。大戦争が始まったからにはともかく勝たねばならない、とする既成事実にはひきずられる考え方や、戦争は勝利しつつあるという実感や、三七年末までに早くも七万人の軍人が出征したという事実がもつ重さなどが、言論統制や世論誘導とともに、民衆の意識の変化に圧倒的な影響力をもち始めた。

一九三七年末に企画院産業部が中央農林協議会などの協力をえて行った全国三八町村の実態調査によれば（以下、内閣情報部編「事変下に於ける農山漁村の思想動向」による）、対中国戦争についての農山漁村の民衆の態度は、一村規模で大ざっぱにいえば、「中流以上は（再び「紛争」がおこらぬようになるまで）徹底的に……やって欲しい。中流以下は早く止めて欲しい」（宮城県南方村）というものであったという。

地域社会で「中流以上」とみられる民衆は、生活に余裕があるために、公的な戦争目的である

question continues...

